

事業案内

2021(令和3)年度事業報告

2022(令和4)年度事業計画



社会福祉法人
千葉いのちの電話

24時間年中無休
相談電話 043-227-3900

CONTENTS

ごあいさつ	1
千葉いのちの電話の理念	2
2021（令和3）年度事業報告	3
I. 相談事業報告	
(1) 電話相談事業	3
(2) 自死遺族支援事業 わかちあいの会「ひだまり」	10
(3) 対面相談事業	11
(4) インターネット相談事業	12
II. 養成と研修	13
III. 公開講演会・公開講座	13
IV. 活動報告	14
V. 他機関との連携	16
2021（令和3）年度 決算報告	17
2022（令和4）年度 事業計画基本方針	20
2022（令和4）年度 事業目標	20
第32・33期ボランティア相談員養成基礎研修講座の概要	21
千葉県いのちの電話協会	22
役員名簿	23
千葉いのちの電話役員名簿	
千葉県いのちの電話協会役員名簿	
研修専門家部会名簿	

ご支援のお願い

ごあいさつ



社会福祉法人 千葉いのちの電話

理事長 友田 直人

コロナ禍も2年目となった2021（令和3）年度も幅広い県民の皆様のご支援を賜り、ここに千葉いのちの電話の事業報告並びに2022（令和4）年度の事業計画をご報告できますことを深く感謝申し上げます。

さて、全国の自殺者数は関係機関の努力もあり2009年の3.7万人のピークから2万を下回ろうかとする目前までに継続的に減少して参りました。しかし一昨年上昇に転じ、特に女性の自殺者数の増加、若年層の下げ止まりなどが目立った傾向として報道されました。昨年度はほぼ横這いの21,007人の自殺者数でした。相談にもコロナ禍による物理的あるいは精神的な閉塞状態や経済的な不安による悩みが多く寄せられ、件数はともかく、時を経てより深刻となった状況を思わせるものもありました。

一方、「いのちの電話」が何度か報道に取り上げられたことも影響しているのですが、自殺予防といのちの電話の活動への関心の高まりも感じます。初めての方から「大変でしょうががんばってください」との応援のお電話やご寄付をいただくようになりました。また、ボランティア募集には近年にない多くの方が手を挙げてくださいました。

反面「なかなか電話が繋がらない」とのお叱りの電話も増えています。いのちの電話が社会的に果たしてゆかなければならない責任と今後の活動の在り方を、全国の多くのいのちの電話の仲間の皆さんと話し合い、検討してゆきたいと存じます。

そして今年度、何よりも私たち相談員一人一人は変わらず、様々な問題を抱え生きることの苦悩する人に寄り添い相談に応じる、という基本理念を常に忘れず、地道に相談活動に全力を尽くして参りたいと存じます。

引き続き千葉いのちの電話に対するさらなるご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

千葉いのちの電話の理念

千葉いのちの電話はかわりを求め、なんとか対処しようと苦悩している人たちに「私たちがここにいるよ」と表明し、寄り添いかかわりを求められる存在でありたいと望んでいます。そのために傾聴を基本の姿勢として、時には自殺まで思うほどの精神的危機にある人に寄り添い、対等な人間としてかわりを持ち支え合う相談活動をしています。また、使命の大きな柱である自殺予防のため、裾野の広い自殺予防活動を行います。

相談援助活動の4本の柱

電話相談

043-227-3900
24時間365日
年中無休

わかちあいの会
- 自死遺族支援 -

対面相談

- こころの相談室 -
予約専用電話
043-222-4331

インターネット
相談

◆ 千葉いのちの電話の歩み

・ 設立準備委員会発足	1988年 1 月	・ 千葉日報社会福祉賞受賞	2009年11月
・ 千葉いのちの電話開局	1989年10月 1 日	・ 社会貢献者表彰	2010年10月
・ 千葉県いのちの電話協会発足	1990年10月20日	・ 「震災ダイヤル」参加	2011年 3 月
・ 社会福祉法人設立認可	1993年12月28日		～2013年9月26日
・ 第22回いのちの電話相談員全国研修千葉大会・ 第10回アジア太平洋地域電話カウンセリング国際 会議開催	2001年 6 月13日 ～16日	・ 「ナビダイヤル」参加	2013年 3 月
・ 千葉市社会福祉功労表彰	2005年10月	・ 千葉県社会福祉賞受賞	2013年12月25日
・ 自死遺族支援「わかちあいの会ひだまり」を開始	2006年11月	・ 厚生労働大臣表彰	2014年 9 月27日
・ 新会館（CIDビル）に移転	2007年 6 月 1 日	・ 開局25周年記念式典	2014年10月 1 日
・ インターネット相談開始	2008年 7 月	・ 千葉県いのちの電話協会25周年記念式典	2015年 9 月30日
・ 対面相談開始	2009年 4 月	・ 開局30周年記念式典	2019年10月 1 日
		・ コロナ禍対応「毎日フリーダイヤル」参加	2020年 6 月

社会福祉法人 千葉いのちの電話 概況

(2022年4月1日現在)

【設 立】1989年10月 1 日

【法人認可】1993年12月28日

【組 織】理事：8名 監事：2名 評議員：19名 後援会役員：15名 監事：1名

【認定者累計】1,196名 【実動相談員数】175名 【活動ボランティア数】24名

2021（令和3）年度事業報告

（2021年4月1日～2022年3月31日）

はじめに

福祉サービスの提供として精神的危機に直面し、援助と励ましを求めている人びとと、主に電話という手段で対話し、健全な社会人として生活することが出来るよう援助し、その他にこれに関連するサービスを提供し、もって社会福祉の増進に寄与することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

定款（目的）第1条

この一文は、千葉いのちの電話の活動の使命や理念を表わし、定款の第1条に掲げています。私たちはこの目的の実現のために市民運動のボランティア組織ではありますが、責任ある組織として活動を継続して参りました。2021（令和3）年度の電話相談・自死遺族支援・対面相談・インターネット相談の4相談事業の活動の概要を中心に、ここにご報告させていただきます。

I 相談事業報告（2021年4月～2022年3月）

（1）電話相談事業

1）内容分析

- ・千葉いのちの電話（日、月、火、水は7：30～18：30・
木、金、土7：30～21：30、2022年5月1日現在）
- ・ナビダイヤル（0570-783-556；10時～21時）
- ・フリーダイヤル（0120-783-556；毎月10日8時～翌日8時）
- ・毎日コロナフリーダイヤル（同上；第2週を除く水16：00～21：00
のみ千葉参加）

の4種の相談に参加しています。

コロナ禍で一昨年に続き十分な活動ができなかった一年でしたが、不規則ながらも4帯は復旧し、相談員も少しずつ戻ってきています。深夜帯については現在も10日のフリーダイヤルのみの受信です。

昨年度の年間の受信件数は12,203件で前年度比1,436件増えましたが、自殺傾向は1,454件で前年比（1,461件）若干の減です。性別では、男性564件と昨年（605件）より減りましたが、女性は890件と昨年（856件）より増えました。

相談内容を見ますと男女とも人生・精神が多くなっています。精神の疾患を抱えている相談者の自殺傾向は高く、社会情勢からくる、孤立や生活への不安がさらなるストレスとなり先行きの不安を大きくしているようです。

年代別では不明を除くと50代からの電話が多いのですが、自殺傾向は働き盛りと言われる40代が多くなっています。内容は失業、仕事がないなど経済的な不安を語ります。

自殺未遂544件のうち61.4%の相談者は現在も死への念慮があり、未遂なしと思われる738件の7.1%、不明の30%の方が死への思いを抱えています。

女性の方が自殺傾向は多いのですが既遂者は男性が多いです。相談内容とは別に相談者全体では48%が精神疾患の歴あり・治療中・疑いありとなります。不明を除くと58%です。特に治療中に自殺傾向が増加しています。

コロナ禍に関しては、2021年度も、蔓延防止等重点措置、緊急事態宣言に明け暮れた年となりました。失業・倒産・事業不振など、生活困窮に直接かわる相談が、世代を問わず引き続き多くなっています。一家の柱が長期間仕事を失うことは、家族関係の悪化、子どもたちの退学にもつながります。感染不安に関しては、家族の感染・職場でのクラスター・ワクチン接種への不安・ワクチンの副反応による体調不良などの不安がより身近になっています。行動制限による外出控えについては、通院控えによる体調の悪化・施設の見舞いが叶わず家族が亡くなったなど、これまでにない辛い状況を抱える人も多くなっています。3年目に入ったコロナ期間は、生活格差を拡大し、ますます生きにくい世の中になっています。

加えて2月からは、ロシアによるウクライナへの侵攻の様子をメディアなどで毎日、見聞きするようになり、ここまで何とかコロナ禍と向き合ってきた人たちが、戦争報道に生き辛さを感じ、気持ちが沈む、体調がすぐれないといった相談も増えています。

◆ 電話相談事業概況（2021年4月～2022年3月）

受信数			累計		
2021年4月～2022年3月（365日）			1989年10月～2022年3月		
総受信件数	12,203件		総受信件数	691,935件	
一日平均	33.4件				
男	5,467件	44.8%	男	306,438件	44.3%
女	6,376件	55.2%	女	385,497件	55.7%
不明	0件	0%	不明		

	総件数	男		女	
		件数	%	件数	%
通常	10,350	4,567	44.1	5,783	55.9
フリーダイヤル	756	407	53.8	349	46.2
*ナビダイヤル	599	246	41.1	353	58.9
*毎日フリーダイヤル	498	247	49.6	251	50.4
総計	12,203	5,467	44.8	6,736	55.2

*フリーダイヤル毎月10日8：00～11日8：00） *ナビダイヤル（10時～22時）

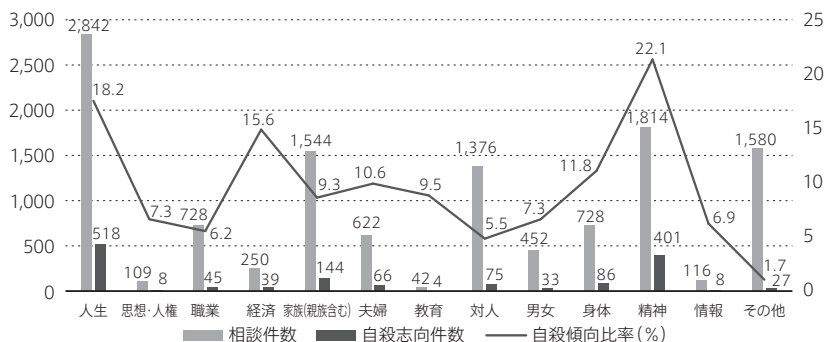
*毎日フリーダイヤル6月20日より開始、現在は毎水曜日16：00～21：00千葉参加

自殺志向（通常・フリーダイヤル・ナビダイヤル・毎日フリーダイヤル）

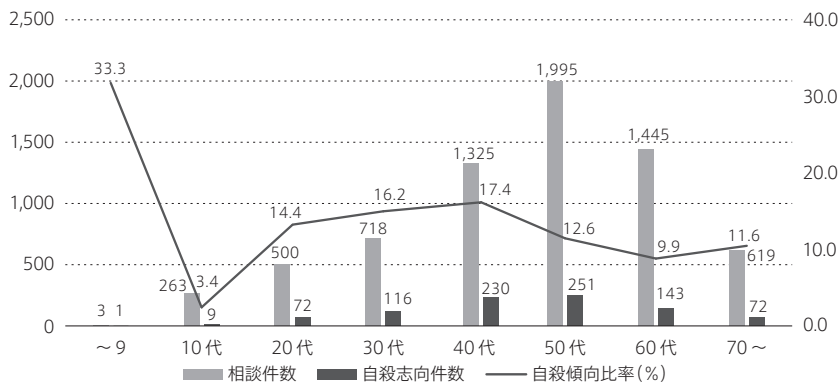
	総受信数	念慮		危険		予告・通告		実行中	
		男	女	男	女	男	女	男	女
通常	1,038件 (71.4%)	368	596	24	29	4	10	1	6
フリーダイヤル	150件 (10.3%)	58	82	4	3	1	1	0	1
ナビダイヤル	122件 (8.4%)	40	69	4	7	1	0	0	1
毎日フリーダイヤル	144件 (9.9%)	57	76	1	9	1	0	0	0
総計	1,454件	523	823	33	48	7	11	1	8

総受信件数12,203件のうち自殺志向は1,454件（男564件・女890件）総受信件数の11.9%

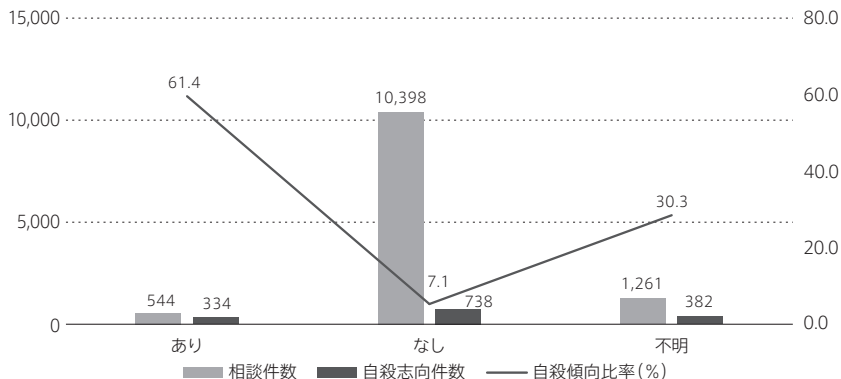
◆ 相談内容別件数と自殺志向件数の割合



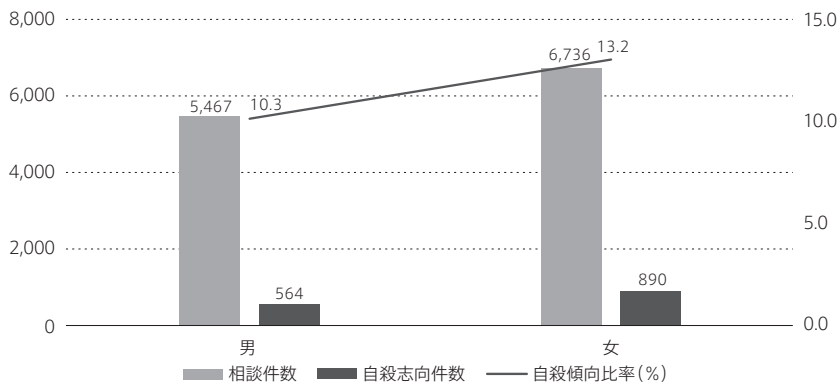
◆ 年代別相談件数と自殺志向件数の割合



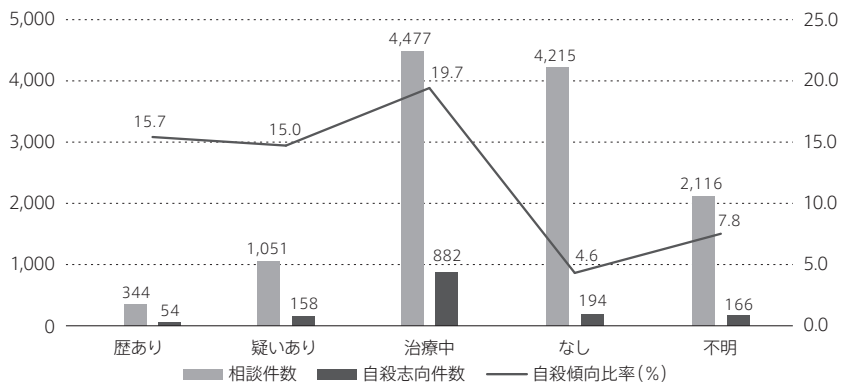
◆ 自殺未遂歴有無別相談件数と自殺志向件数の割合



◆ 性別相談件数と自殺志向件数の割合



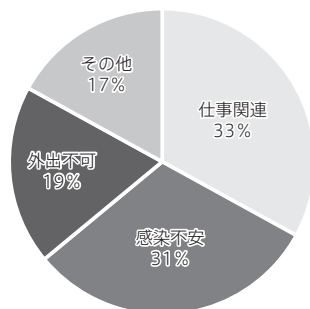
◆ 精神疾患有無別相談件数と自殺志向件数の割合



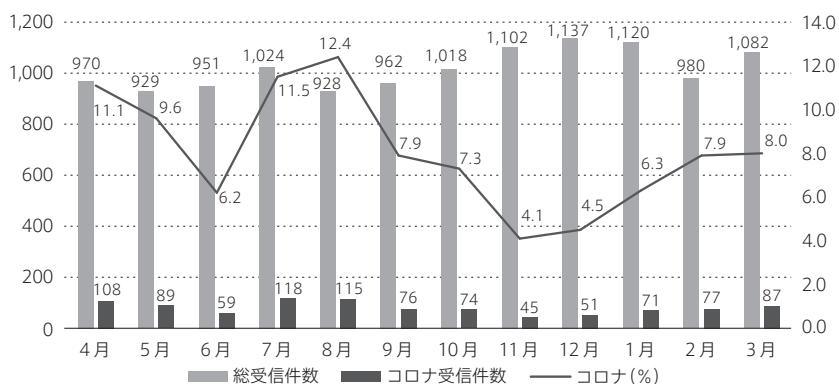
◆ コロナに関する受信件数（2021年4月～2022年3月）

◆ コロナ受信件数（年間）

項 目	年間件数	内 容
仕事関連	325	失業・転勤・収入減・倒産・事業不振・仕事が見つからない他
感染不安	300	本人家族の感染・気分の落ち込み・感染ストレス・体調不良・クラスター不安他
外出不可	180	施設の家族に会えない・通院控え・旅行不可・外食控え・趣味中止他
その他	165	人間関係の悪化・生活格差の拡大・行政対応の不満・将来の不安他



◆ コロナに関する受信件数（月別）



◆ コロナに関する受信件数（男女別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総受信件数	970	929	951	1,024	928	962	1,018	1,102	1,137	1,120	980	1,082	12,203
コロナ件数	108	89	59	118	115	76	74	45	51	71	77	87	970
コロナ(%)	11.1	9.6	6.2	11.5	12.4	7.9	7.3	4.1	4.5	6.3	7.9	8.0	
男	55	43	24	38	38	40	31	20	22	29	37	39	416
女	53	46	35	80	77	36	43	25	29	42	40	48	554

2) 活動実績 別表「対応実績」参照

新型コロナウイルス禍2年目。7:30~18:30(1帯~3帯)までの実施を確保しつつ、感染拡大の状況を見ながら相談活動実施時間の拡張を模索してきたということになる。

4月と7月に一部21:30(4帯)までを試みるも8~9月の感染増加に伴い3帯までに縮小し、10月後半から週末2日(金曜、土曜)のみ21:30まで実施、12月からは週3日(木・金・土)実施となっていて。この他に毎月10日フリーダイヤル自殺予防(24時間)とコロナ禍毎日フリーダイヤルに参加している。コロナ禍毎日フリーダイヤルは、16:00~21:00実施のため、参加している水曜日(第2週を除く)も含めると、12月からは、水・木・金・土がほぼ21:30まで対応ということになる。

電話担当実績人数は、4月の105人から多い時で12月の149人、3月末は135人となっている。担当人数(休務者を除く)との差は、担当実績が0回の人がいるためである。担当回数も2回担当している人と1回担当している人が半々の状態。0回の人も含め、コロナの様子見なのか、多忙なのか、都合のよい時間帯がないのかと推測している。

2月は日数が少ないがクローズ帯が5回と一番多くなっていて、担当がしにくい月との印象がある。受信件数は、電話相談実施体制に伴い、年度合計12,203件、月平均1,017件となった。

3) 担当調整等

①継続研修グループ毎の相談員による担当調整

コロナ禍では、グループ担当調整を積極的に推進できず、グループの自主性に任せている。

②役員による担当調整

「空き情報」をグループ毎の連絡網に発信し、担当を埋めてもらうように協力を促している。

③32期養成者13名が10月17日から実習として担当に加わり、3月19日に認定を受け晴れて仲間となった。

4) 会議

①役員会議：毎月1回及び必要によって開催。

②定例会議：役員と各継続研修グループからの代表(18名)による定期的な会議、Zoom併用。

	定例会議開催日	議 題 等
1	5/15(土)	役員、代表部員、連絡係の紹介、6月電話相談体制の検討
2	7/31(土)	AED設置について
3	10/30(土)	「非通知電話への対応」の説明と話し合いの方法について
4	1/30(日)	上記アンケート結果、24時間体制復帰をどのように実施するか
5	2/19(土)	個人BOXの移動・整理について 2021年度活動まとめ

5) その他

①副会長（休務中）が辞任したため、役員の中から副を選出。新規役員1名補充。

②年末年始の電話担当者の慰労のためにお菓子等を用意。

別表：対応実績

月	日・活動時間	10日FD	コロナ禍FD (水)	実績人数/ 担当人数	件数	クローズ数 (帯) 日
		8時～翌8時	16時～21時			
4月	1～15 7:30～18:30	4/10 (土)	3日実施	105/155	970	2回 (4帯) 19、27
	16～30 7:30～21:30					
5月	7:30～18:30	5/10 (月)	3日実施	125/157	929	なし
6月	7:30～18:30	6/10 (木)	4日実施	124/159	951	1回 (1帯) 16空調工事
7月	1～15 7:30～18:30	7/10 (土)	3日実施	125/155	1,024	なし
	16～31のうち金土6日間 7:30～21:30					
8月	7:30～18:30	8/10 (火)	3日実施	118/156	928	なし
9月	7:30～18:30	9/10 (金)	4日実施	112/156	962	なし
10月	1～15 7:30～18:30	10/10 (日)	4日実施	136/171	1,018	なし 17～ 32期実習14名、 途中から13名
	16～31金土のみ 7:30～21:30					
11月	7:30～18:30 月～木・日 7:30～21:30 金・土	11/10 (水)	3日実施	146/173	1,102	なし
12月	7:30～18:30 月～水・日 7:30～21:30 木～土	12/10 (木)	4日実施	149/172	1,137	3回 (4帯) 2、3、17
1月	7:30～18:30 月～水・日 7:30～21:30 木～土	1/10 (月)	3日実施	146/172	1,120	1回 (4帯) 20
2月	7:30～18:30 月～水・日 7:30～21:30 木～土	2/10 (木)	3日実施	133/168	980	5回 (4帯4回、 1帯1回) 3、4、11
3月	7:30～18:30 月～水・日 7:30～21:30 木～土	3/10 (木)	3日実施	135/169	1,082	2回 (4帯) 4、18
計					12,113	1,009件/月平均

(2) 自死遺族支援事業 わかちあいの会「ひだまり」

会場は例年「柏アミューズ」「印旛健康福祉センター」「千葉きぼーる」の3箇所で開催していましたが「千葉きぼーる」会場の確保が難しくなり、昨年度後半より「千葉市生涯学習センター」へと変更いたしました。しかし従来の参加者が変更を知らず「きぼーる」へ行かれることも考え、2022年5月までは現地へ掲示をお願いし、又スタッフも案内で待機しました。ホームページや印刷物は修正済みですが「SNSみた!」と言う参加者に対して周知は容易ではありません。感染防止のため、参加者に理解して頂き検温、手指の消毒、アクリル板の設置、サーキュレーターの持ち込み等考え得る対応をしながら、異例ですが、連絡先（何ものければ2週間後に責任をもって廃棄が条件）もお聞きしました。心より早急な安心・安全の場の提供を願っています。

- ・スタッフ研修：11/29 講師 森 美加氏、12/20 講師 末松 渉氏、
3/14 講師 藤井 忠幸氏
個人SV 6～10月まで zoom利用で14名 藤井先生

・講演会

12/3「自死遺族たちの尊厳回復へ向けて」 講師 藤井 忠幸氏

3/20「コロナ禍を生きる」 講師 湯浅 誠氏

・いのちの電話連盟主催自死遺族支援合同研修会

12/26 担当 栃木センター (zoom)

前半/講演会「自傷行為の実際」 講師 松木 俊彦氏

後半/わかちあい実施の5センターで支援の関わり方や現在の活動内容など討論

◆ ひだまり開催と参加者数

年 度	開催回数	会場別参加者数 (人)						累計	参加内訳 (人)	
		千葉	習志野	柏	君津	印旛	浦安		男	女
2006～2020	368	502	6	646	11	125	2	1,292	449	843
2021	23	59		39		11		109	35	74
計	391	561	6	685	11	136	2	1,401	484	917

◆ 茶話会開催と参加者数

年 度	茶話会回数	参加者	参加内訳 (人)	
			男	女
2006～2020	32	179	35	144
2021	3	10	2	4
計	35	189	37	148

*参加者の声より

- ・分かち合いの場にひとときでも身を置くだけで心から笑えない日々の中でも安らぐことができ、また生きていこうと思うことができた。
- ・自分の気持ちを少しは整理するきっかけになった。
- ・今の気持ちを大切にしたい。
- ・コロナ禍の中、皆さんに会いたい。
- ・守秘の約束の中でこんなにもおしゃべりが出来て嬉しく思い、安心して話せた。

◆ 合計

会 場	開催数	参加者	死別対象					
			子ども	配偶者	親	兄弟	恋人	その他
千葉	10	59	24	9	14	12	0	3
柏	5	39	25	5	7	2	0	1
印旛	5	1	7	0	0	4	0	0
計	20	109	56	14	21	18	0	4
茶話会 柏	2	2	6	0	0	0	0	0
千葉	1	4	0	0	0	0	0	0
計	3	6	6	0	0	0	0	0
合計	23	115	62	14	21	18	0	4

(3) 対面相談事業

2009年に対面相談を開始して以来、この12年間の相談累積件数は1,410件となった。

2021年度は、長引くコロナ禍による様変わりした社会状況や変容した生活様式の中で、相談実施日を週4日体制にしながら、緊急事態宣言時には「電話による個別相談」の運用も含め、終始感染予防に配慮しつつ、相談業務に努めた1年間であった。対面相談実施件数は、153件と前年（177件）の14%減となった。

対面相談実施件数の男女別では、男性が69件（45%）、女性が84件（55%）で、昨年度に比べ男性の比率が増加している。年代別では、男女とも60代の割合が圧倒的に多く、全体の49%を占めている。内容別では、「人生」、「家族」、「対人」の順に多い。傾向として、日常での生活様式の変容やリモートワークに伴う在宅時間の増加により、今まで以上に自分自身を取り巻く人達との関わり方や、身近な家族関係の不調が目立つ。多くの相談者が、これから先の人生をどう生きるべきか、人としてどうあるべきかをご自身に対して問われており、人としての人間性の確立を探っているような状況である。

現在、まだまだ先の見えない出口に向かって生活せざるを得ない状況の中で、継続して相談出来る場所を提供し続けることが、相談員の責務だと強く感じる。

◆ 相談実施件数

年 度	実施件数
2009年～2020年	1,257
2021年	153
計	1,410

◆ 相談実施件数 男女別

年 度	実施総数	男	女
2021年	153 (0)	69 (0)	84 (0)

() は当日受付相談件数
※電話個別相談件数 3件含む

◆ 相談実施件数 年代別

年 代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
男	0	3	5	3	14	34	9	1
女	0	2	4	5	11	41	21	0
計	0	5	9	8	25	75	30	1

◆ 相談実施件数 相談回数別

1回： 26	2回： 11	3回以上： 116
--------	--------	-----------

◆ 相談実施件数 相談内容別

項目	人生	職業	経済	家族	夫婦	対人	身体	精神	自死遺族
件数	56	0	1	43	0	30	0	2	21

◆ 相談実施件数 情報源別

情報源	地域新聞	HP	広報誌	3事業	公開講座	ポスター	その他
件数	30	47	16	24	0	0	36

◆ 自殺傾向

傾向	なし	念慮	危険	予告	自傷等
件数	151	2	0	0	0

◆ 自死遺族個別相談（於：印旛合同庁舎）

相談件数： 2件	来談者数： 2名
----------	----------

(4) インターネット相談事業

一昨年に続きコロナ禍のため、担当回数を制限せざるを得ない者や休務者があったので、月6回の返信活動を5回に減らし、各回の担当者数も3名から2名で継続してきた。また、新規ネット相談受信も制限して行った。

受信総数は通常の体制と比較するとほぼ100近く減少した。地域別、性別、年代別については、ほぼ同様の傾向であった。相談内容では、精神が最も多く人生、家族、対人がそれに続いている。

人との接触が制限されたことによる孤立感や、家族間の問題などの相談が多く寄せられ、コロナ禍の影響を痛感した。また、同じ方から頻繁に相談が寄せられることが続き、返信に苦慮する事例もあった。

継続研修は上田将史氏、日下忠文氏、石川真紀氏を講師に迎え、ネット相談の基本、精神疾患や心理的な問題を抱える方への対応などを学び、実際の困難事例を取り上げていただいたことも良い勉強になった。今年度は元少年刑務所での勤務経験のある公認心理士の中村修氏から「性犯罪について」の講義を受け、好評であった。Zoomも活用し、他部門の方とも合同で研修できたことも成果である。また、内部講師による自主研修も実施できた。新年度は新規の入部希望者が2名あり、一緒に活動できる日を楽しみにしている。

〈相談件数〉

地域別		性 別		相談回数	
千葉県	155	男	71	1 回	115
その他	48	女	139	2 回	69
不 明	25	不 明	18	3 回	44
計	228	計	228	計	228

■ 年代別相談件数

年 代	9才以下	10才代	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才代	不 明	計
件 数	0	14	56	42	37	54	4	2	19	228

■ 相談内容別

内容分野	人生	人権	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	計
件 数	57	0	15	4	39	5	3	29	6	5	61	1	3	228

■ 自殺傾向

なし	念 慮	危 険	予 告	実行中	不 明	計
138	64	1	0	0	25	228

Ⅱ 養成と研修

(1) ボランティア相談員の養成

- ① 32期ボランティア相談員養成基礎研修講座
- ② 33期

4月第Ⅱ程より再開、認定者13名
10月開講、Ⅱ課程まで修了

(2) 相談員の研修

- ① 電話相談員研修（1期生～31期生）

継続研修；16グループ

専門家研修；講師；岸良範氏（4回）、末松渉氏（5回）、上田将史氏（3回）、
木村登紀子氏（4回）、米村美奈氏（3回）、有田トモ子氏（3回）、
西浦加代子氏（3回）、佐藤俊一氏（5回）

- ② 電話相談研修ボランティア

宿泊研修 3/20～3/21 講師；末松渉氏

フォローアップ研修 講師；末松渉氏 4/22、5/27、6/24、7/29、8/26、
9/30、10/28、11/25、12/23、2/24

個人スーパービジョン 講師；末松渉氏

事例検討会 講師；有田トモ子氏 2/19

- ③ 対面相談員研修

継続研修；講師；勝山修一郎氏、佐藤俊一氏 4/11、5/9、6/13、7/11、9/12、
10/17、11/14、12/26、1/23、2/11

個人スーパービジョン 7名 講師；佐藤俊一氏

- ④ 自死遺族支援員研修

継続研修；講師；森美加氏、藤井忠幸氏、末松渉氏 11/29、12/20、3/14

個人スーパービジョン 15名 講師；藤井忠幸氏

- ⑤ インターネット相談員

継続研修；講師；上田将史氏（4回）、日下忠文氏（1回）、石川真紀氏（1回）、中村
修氏（1回） 4/25、5/29、7/18、9/26、12/22、1/23

- ⑥ 事務局研修

講師；中村幸恵氏 3/26

Ⅲ 公開講演会・公開講座

(1) 「自分を支える心の技法」

厚生労働省補助事業公開講演会（動画公開）

講師；名越康文氏

公開；令和3年9月6日（土）～3月22日（月）

視聴回数；390回

(2) 「聞かせてください、あなたの声を」

オンライン公開講演会（動画公開）

講師；花崎みさを氏

公開；令和4年3月20日（日）～3月27日（日）

視聴回数；101回

(3) 「コロナ禍を生きる」

自死遺族支援公開講演会 柏市共催

講師：湯浅 誠氏

日時：令和4年3月20日（日）

会場：アミュゼ柏

参加者：70名

IV 活動報告

1. 理事会・評議員会の開催

理事会 5/19、6/16、(臨時) 10/27、3/16

評議員会 6/16、11/17、3/23

主な議案 2020（令和2）年度事業報告・決算報告・役員選任・評議員の選任・
2022（令和4）年度事業計画・予算承認

2. 部会・委員会報告

(1) 研修委員会

(5/17、10/25、3/1)

- ・33期養成講座についての承認
- ・コロナ対策について
- ・感染が原因の欠席の取り扱いについて
- ・34期養成講座について

(2) 研修専門家部会

(8/27、12/21、3/7、3/17)

- ・電話相談研修担当者の継続研修について
- ・4事業合同研修担当者養成について
- ・32期養成研修について進捗と判定
- ・33期養成研修について進捗と判定
- ・34期養成カリキュラムについて

(3) 研修ボランティア部会

(4/25、5/17、6/27、7/25、9/26、10/24、11/28、11/30、12/27、1/9、
1/23、2/27、3/27)

- ・32期養成～認定、33期養成開講
- ・4事業合同研修担当者養成1年目終了
- ・34期養成カリキュラム検討

(4) 電話相談研修担当者会

- ・継続研修 16グループ（1～31期）
- ・研修担当者継続研修
- ・研修担当者スーパービジョン
- ・相談員のケア・資料・統計の作成

(5) 運営協議会

(4/26、5/24、6/28、7/26、8/23、9/27、10/25、11/22、12/20、
1/24、2/21、3/28)

<決定事項>

- ・総務財務委員会各部会に事務局員1名が部員として活動する。(第2回)
- ・電話室等に二酸化炭素濃度測定器を導入する。(第4回)

- ・リスクマネジメント検討プロジェクトの立ち上げ。(第5回)
- ・相談員の増強について「ボランティア相談員募集のためのマスメディアや他機関への働きかけ」を次年度の事業計画に付け加え、相談活動の維持・継続に努める。(第8回)
- ・活動ボランティア検討チームを立ち上げ、令和5年の相談員募集に併せての募集を目指す。(第8回)
- ・第32期認定式 3/19(土)開催の決定。(第10回)
- ・「北原悦子さんと語る会」5/24(火)開催の決定。(第12回)・令和4年度事業計画・予算についての検討

(6) 事業委員会

①役員会議の開催と検討テーマ

- (4/22、5/20、6/20、7/19、8/19、9/22、10/21、11/18、12/16、1/20、2/17、3/24)
- ・在籍者変動報告、役員について
 - ・センター前駐車ルール、AED設置について、相談員用ガイドブック管轄の確認・辞退届等
 - ・4事業活動報告及び次月予定
 - ・二酸化炭素測定器導入の検討
 - ・非通知電話への対応の検討
 - ・リスクマネジメントとしての緊急時連絡先の確認
 - ・対面相談よりの「施設料の廃止」について検討
 - ・相談員用ガイドブック更新事項の確認
 - ・相談援助活動時の緊急対応の確認
 - ・年度振り返りと次年度について
- また、毎回・4事業活動報告及び次月予定の確認実施

(7) 総務財務委員会

- (4/23、5/17、6/23、7/21、8/9、8/18、9/3、9/22、10/7、10/20、11/17、12/15、1/19、2/1、3/23)
- ・10/7(金)永年表彰 賞状・記念品の贈呈と座談会の実施。30年表彰(2期)1名 20年表彰(12期)5名 10年表彰(21期)11名
 - ・活動ボランティア検討プロジェクトチームの立ち上げ。令和5年35期時募集を目指す。
 - ・永年表彰検討プロジェクトチームの立ち上げ。開局記念式典についても検討する。
 - ・第32期認定式プロジェクト会議の推進と第32期認定式の開催 3/19(土)開催

(8) 財務・総務部会

- ①令和4年度事業計画・予算案策定
- ②財務基盤健全化策の検討

(9) 広報啓発イベント部会

- ①広報誌「いのちの電話・ちば」第73号、第74号(夫々6/10、11/10)2,000部発行
- ②講演会プロジェクト：公開講演会の企画・開催運営
- ③イベントプロジェクト：コンサートの応援

(10) ボランティア増強部会

- (4/12、4/26、5/7、5/10、6/21、7/5、7/19、8/2、10/8、1/31、2/14、2/28、3/2)
- ・7/25(日)事前説明会 CIDビル 参加者19名 オンデマンド配信

- ・ 8/22（日）公開講演会・事前説明会 CIDビル参加者 22名 オンデマンド配信
講師 岸 良範氏「今、私たちにできること」
- ・ 第33期ボランティア相談員応募者数 89名
- ・ 33期ボランティア相談員募集の分析と考察
- ・ 2022年度第34期生募集広報活動の検討

(11) 事務局

事業計画の円滑な推進に協力・千葉市・関係機関との連携・諸会議出席
連盟会議出席
ハウレンソウ編集・作成

V 他機関との連携

1. 千葉県のいのちの電話協会後援事業

① 千葉県のいのちの電話協会30周年ふれあいチャリティコンサート

澤村祐司 & 永井由里ジョイントコンサート

日 時……2021年6月26日（金）12：30開場 13：30開演
場 所……千葉市文化センター 3 F アートホール
料 金……指定席 3,500円 自由席 2,500円
入場者数……約200名（コロナ禍の為定員250名）

② 千葉県のいのちの電話協会30周年チャリティコンサート

山田大智 LAVOCE～歌とピアノで巡る世界の旅～

日 時……2021年11月30日（火）12：30開場 13：30開演
場 所……千葉市民会館
料 金……指定席A 5,000円 指定席B 4,000円 自由席 3,000円
入場者数……約280名（コロナ禍の為定員500名）

③ 協会設立30周年記念式典

2月21日（月）開催予定でしたが、コロナ感染予防の観点から中止しました。感謝の気持ちをお伝えする手段として、記念誌を作成しました。

2. 一般社団法人日本いのちの電話連盟

- (1) 第49回定時総会に出席（6月25日）
- (2) 統計システム事業委員会に参加
- (3) 関東甲信越ブロック会議に参加（2022/3/5リモート）
- (4) インターネット相談実施センター会議に参加（2022年3月23日）
- (5) フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」及び「毎日フリーダイヤル」に参加
- (6) いのちの電話ナビダイヤルに参加
- (7) 自死遺族支援合同研修会に参加（12月26日）

3. 千葉県諸機関との連携

- (1) 自殺対策支援連絡協議会のメンバーとして会議に出席
（千葉県・千葉市・浦安市・柏市・市川市・船橋市・松戸市・八千代市・白井市・横芝光町他）
- (2) 千葉県精神保健福祉協議会にメンバーとして参加
（心のふれあいフェスティバル・心の健康フェア・退院促進セミナー）
- (3) 千葉県安全安心まちづくり推進協議会に出席
- (4) 千葉市ボランティア連絡協議会の関連行事に参加

2021（令和3）年度 決算報告

■貸借対照表（2022（令和4）年3月31日現在）

（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	29,677,319	流動負債	65,944
現金	50,192	預り金	27,568
普通預金	25,725,427	職員預り金	5,250
事業未収金	3,901,700	借受金	33,126
固定資産	153,159,619	負債の部合計	65,944
基本財産	108,311,487	純 資 産 の 部	
土地	59,500,000	基本金	145,812,651
建 物	48,811,487	その他の積立金	35,577,655
その他の固定資産	44,848,132	修繕積立金	2,600,000
構築物	1	備品等購入積立金	3,000,000
器具及び備品	2,759,478	ボランティア養成積立預金	6,577,655
電話加入権	536,372	次期繰越活動増減差額	1,380,688
ソフトウェア	349,346	（うち当期活動収支差額）	1,927,316
修繕積立預金	26,000,000		
備品等購入積立預金	3,000,000	純資産の部合計	182,770,994
ボランティア養成積立預金	6,577,655	負債及び純資産の部合計	182,836,938
資産の部合計	182,836,938		

■資金収支決算書（2021（令和3）年4月1日～2022（令和4）年3月31日）

（単位：円）

	科 目	予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A)－(B)
事業活動による収支	相談事業収入	10,486,000	10,817,474	△ 331,474
	経常経費寄附金収入	6,000,000	7,738,214	△ 1,738,214
	受取利息配当金収入	3,000	693	2,307
	その他の収入	2,800,000	2,815,000	△ 15,000
	収 入 計	19,289,000	21,371,381	△ 2,082,381
	人件費支出	6,130,000	6,195,333	△ 65,333
	事務費支出	10,142,978	10,479,523	△ 336,545
施設整備等による収支	その他の支出	0	0	0
	支 出 計	16,272,978	16,674,856	△ 401,878
	事業活動資金収支差額	3,016,022	4,696,525	△ 1,680,503
	施設整備等収入	2,500,000	2,500,000	0
その他の活動による収支	施設整備等支出	7,421,711	7,421,711	0
	施設整備等資金収支差額	△ 4,921,711	△ 4,921,711	0
	その他の活動収入	3,649,000	3,640,000	9,000
	修繕積立預金・他支出	1,000,000	1,435,013	△ 435,013
	その他の活動資金収支差額	2,649,000	2,204,987	444,013
予 備 費		212,733	—	212,733
当期資金収支差額合計		530,578	1,979,801	△ 1,449,223

前期末支払資金残高	27,631,574	27,631,574	0
当期末支払資金残高	28,162,152	29,611,375	△ 1,449,223

監査報告書

令和 4 年 4 月 27 日

社会福祉法人千葉いのちの電話

理事長 友 田 直 人 様

監事

大 森 董

監事

稲 本 亨 次

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度(2021年度)の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法およびその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等(事業報告及びその付属明細書)について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類(計算書類及びその付属明細書)及び財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純財産の増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。以上

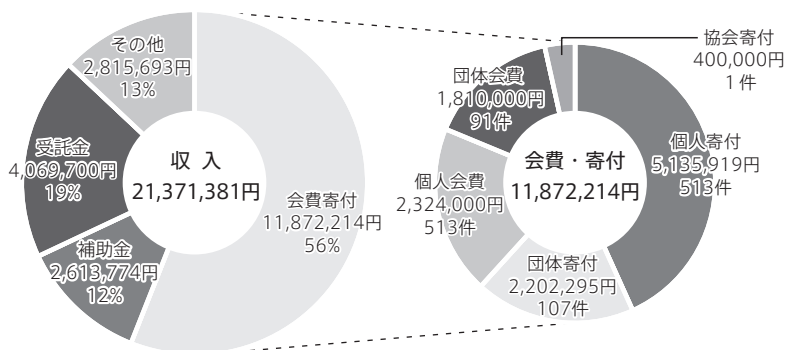
■2021（令和3）年度補助金等内訳

(単位：円)

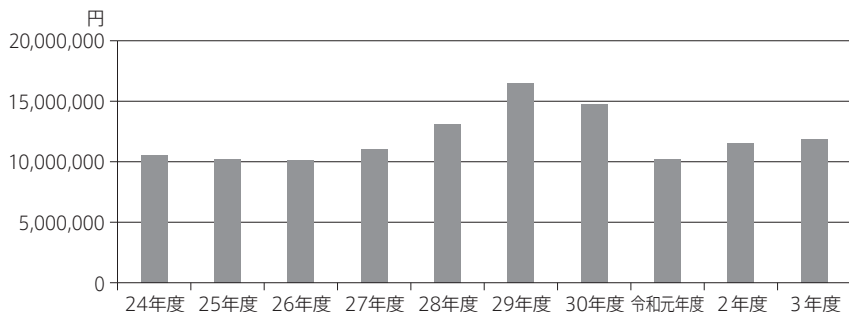
千葉県（電話相談員研修費）	1,300,000	自死遺族支援事業	
千葉県（地域自殺対策強化事業費）	197,000	千葉県受託事業	1,744,700
千葉県（セーフティネット強化基金）	375,000	柏市受託事業	285,000
千葉市（電話相談員研修費）	500,000		
千葉県社会福祉協議会	70,000		
千葉市社会福祉協議会	20,000		
千葉市（自死遺族支援）	151,774		
日本財団	2,500,000		

財務報告

2021年度収入の内訳



会費寄付合計金額 (個人と団体)



令和3年度の収入は21,371,381円。このうち、会費寄付が56%で昨年より7ポイント減少。但し金額は微増。補助金及び受託金収入の合計は31%で、その他13%の収入は受講料や施設使用料などである。減少傾向にあった会費寄付収入は、27～30年度にかけて遺産寄付や篤志家の大口寄付により一旦は増加した。昨年度はコロナ禍による社会的関心を引き続き頂けたのか前年比133万円増となったものの、依然として健全な財政基盤の強化が課題である。

■大口団体寄付 (5万円以上) ありがとうございました。

敬称略 (アイウエオ順)

アローズエンジニアリング(株)、医療法人グリーンエミネンス中村古峡記念病院、上野社会保険労務士事務所、カトリック西千葉教会、金坂医院、京葉銀行社会活動推進室、(一社)生命保険協会千葉県協会、千蔵院、千葉県流通商防犯協力会、千葉興業銀行ともしびの会、千葉信用金庫、千葉西ロータリークラブ、千葉ゆうきのライオンズクラブ、千葉ロータリークラブ、東邦大佐倉病院看護部、長谷川化学工業、(有)やまあき、連合千葉

2022（令和4）年度 事業計画基本方針

1. 基本理念の浸透

精神的危機に直面し苦悩している人に傾聴を基本姿勢として寄り添う相談活動を通して、裾野の広い自殺予防活動を行う。これらは、善良な市民の自らの意思による無償の行為である。いのちの電話関係者はこの基本理念を共有し、浸透させること。

2. 千葉いのちの電話の一般県民への広い周知とボランティア確保

自殺予防活動を目的とし活動するこの働きを、広く県民の一人一人に広報すると共にボランティアへの参加促進をアピールする。

3. 新組織の理解促進と定着

法・社会・利用者・相談員等の要請にこたえるため組織・各内規等の整備を進める。内部での理解・改善・見直しを、対話を基に進める。

4. 施設整備の実施

特に経年劣化に注意しながら、建物・設備の点検と整備の計画化。整備資金積立の実行。

5. 財政基盤の健全な強化

安定的な寄附金収入の確保と拡大のため、維持会員を更に獲得する方法の検討と実施。新型コロナウイルス感染症による企業・団体・個人あらゆる層の経済に与える影響悪化に伴う寄付金等の確保のための新たな手法を構築する。

6. リスクマネジメント活動の推進

様々な非常事態を想定し、相談員や設備、組織を保護することと相談活動の安定的継続を目的に、記録化と相談員への周知を目指す。

7. 将来像の検討

基本理念に基づき、社会の変化に対応した、将来の千葉いのちの電話のあり方を検討する。

2022（令和4）年度 事業目標

I 研修委員会

研修全般に関する方針策定、研修計画・予算案の承認
研修の課題への対応及び決定

- (1) 研修専門家部会 研修に関する事項や課題について専門家の立場から協議・提言・提案を行う。相談員の判定・認定を行う。
- (2) 研修ボランティア部会 研修の計画、予算の作成、決定された研修の実施。基礎研修養成講座計画・実施
4事業研修ボランティアに関するマネジメント

II 事業委員会

4事業に関わる適切な相談支援活動の維持・継続を図る。
すなわち円滑な相談支援の実施、記録の整理と保存、福利厚生、環境整備

- ・電話相談事業部会 電話相談の調整、相談環境の改善
- ・インターネット相談事業部会 非会話の特性を生かした相談需要への対応
- ・対面相談事業部会 地域への開かれた相談として周知を図る
- ・自死遺族支援事業部会 わかちあいの会ひだまりの周知・維持・充実

III 総務財務委員会

相談支援活動の維持・継続を支える活動
自殺予防の啓発、相談員希望者の拡大、財務支援の増強等のため広く県民に千葉いのちの電話の存在を周知理解と協力を仰ぐ。

- ・ボランティア増強部会 ボランティア希望者の拡大
- ・広報啓発イベント部会 講演会の開催、協会のイベント支援
- ・財務総務部会 事業計画・予算案作成を中心に、円滑な事業の遂行を図る。財務基盤の拡張を担う。

IV 事務局

事業計画・予算に則し各事業の円滑な推進を図る。

2022（令和4）年度 一般会計予算

2022年4月1日～2023年3月31日

科 目	予算額
【収入の部】	(単位：円)
会費収入	3,800,000
補助金事業収入	3,603,000
受託金収入	4,065,000
寄付金収入	5,800,000
雑収入	2,093,000
当期収入合計	19,361,000
【支出の部】	(単位：円)
人件費支出	6,674,950
事務費支出	12,324,998
予備費	361,052
当期支出合計	19,361,000
当期収支差額	0
支出合計	19,361,000

2021年度 第32・33期ボランティア相談員養成基礎研修講座の概要

2019年に開講した32期はコロナ感染予防のため休止・延期があり、結果1年延びた2022年3月に13名が認定されました。また33期は2020の募集を断念、2021年に開講し来年3月の認定を目指し研修生は頑張っています。

第33期ボランティア相談員養成講座の流れ



養成講座講師予定：上田将史、勝山修一郎、亀井雄一、木村登紀子、佐藤俊一、清水新二、末松 渉、永原伸彦、西浦加代子、藤井忠幸、米村美奈、他

参考 新規ボランティア相談員養成講座申込者動向

開講年	2013年 26期	2014年 27期	2015年 28期	2016年 29期	2017年 30期	2018年 31期	2019年 32期	2021年 33期	計
応募者数	39	27	43	24	25	36	26	89	220
受講者数	31	22	30	21	16	23	22	62	165
終了者数	23	16	19	11	8	15	13		105
辞退者数	11	4	8	5	1	1	0		30
現相談員数	12	12	11	6	7	14	13		75

千葉県いのちの電話協会

「千葉県いのちの電話協会」は社会福祉法人千葉県いのちの電話の後援会です。

千葉県いのちの電話の財政的支援を主として各種支援事業（活動ボランティアによる手づくり作品の販売・チャリティバザーなど）を行っており、年2回開催するコンサートは収益事業であると共に、幅広く地域の皆様に千葉県いのちの電話の活動にご理解とご支援をお願いする広報活動でもあります。1990年10月の結成から32年目を迎えることができ、これまでご支援を頂いた皆様には深く感謝申し上げます。

★昨年度は一昨年コロナ禍により中止を余儀なくされた、千葉県いのちの電話協会創立30周年の記念事業の一環の「永井由里氏、澤村祐司氏によるバイオリンと箏曲のジョイントコンサート」および「山田大智氏の歌唱とピアノによる世界のメロディー」を無事開催することができました。定員の半分の規制こそありましたが充実したステージに、来場者も満足してお帰りになりました。

また、各所で予定しておりましたバザーはほとんど中止となる中、コンサート会場での販売が大きく貢献しました。

★イオン社会貢献事業「幸せの黄色いレシートキャンペーン」参加

2009年3月より、イオンマリニピア店にて参加しております。これは、参加している活動団体の中から支持する団体に黄色いレシート（毎月11日発行）を提供、金額の1%がその団体に（株）イオン様より支援金として贈呈される仕組みです。昨年度は店頭でのPR活動は中止となりましたが累計で694,300円のご支援を頂いております。ありがとうございました。

2022（令和4）年度コンサートのご案内

- ◆ 第19回千葉県いのちの電話協会ふれあいチャリティーコンサート
6月12日（日） 千葉市文化センター アートホール
外山喜雄とデキシーセイन्ツ「いのちワンダフルワールド」ルイ・アームストロングの素晴らしき世界
- ◆ 第29回千葉県いのちの電話協会チャリティーコンサート
11月5日（土） 千葉市民会館
東儀秀樹の音楽世界「千年の時空を行き交う」

■大口団体寄付（3万円以上）をありがとうございました。 敬称略
千葉銀行 千葉興業銀行 千葉信用金庫 小さな親切運動ちばぎん支部

社会福祉法人千葉いのちの電話 役員名簿 (敬称略) 2022 (令和4) 年7月1日

顧問

佐藤 甫 夫	元千葉大学医学部 教授	山口 光 治	淑徳大学 学長
長谷川 匡 俊	学校法人大乗淑徳学園 理事長		

理事長

友田 直 人	社会福祉法人千葉ベタニヤホーム 理事長
--------	---------------------

理事

佐藤 俊 一	NPO法人スピリチュアル ケア研究会ちば 理事長	松崎 泰 子	日本社会事業大学 理事
斎藤 浩 一	千葉いのちの電話 事務局長	三橋 和 弘	社会福祉法人 一粒会 監事
清水 新 二	奈良女子大学名誉教授		一般社団法人 日本いのち の電話連盟 監事
林 偉 明	千葉県精神保健福祉センター センター長	水鳥川 洋 子	NPO法人子供センター 帆希 理事

監事

大森 薫	大森税理士事務所 所長	裕本 守 次	NPO法人キッズパレット昭 和小放課後児童クラブ館長
------	-------------	--------	-------------------------------

評議員

青木 一 芳	千葉YMCA 理事	永富 博 之	日本労働組合総連合会 千葉県連合会 会長
因幡 和 久	医療法人グリーンエミネンス 中村古峽記念病院 看護師長	長谷川 昌 江	元千葉いのちの電話ボランティア
今井 一 雄	今井法律事務所 弁護士	長谷川 美 穂	公益社団法人 千葉県看 護協会 常任理事
大賀 四 郎	NPO法人千葉県精神障害 者・家族会連合会 副理事長	花崎 みさを	社会福祉法人一粒会 理事長
加藤 福 子	元千葉いのちの電話ボランティア	溝井 伸 二	一般社団法人 生命保険協会 千葉県協会 事務局長
岸 憲 秀	千葉YMCA 理事長	矢澤 正 浩	千葉市社会福祉協議会 常務理事
鈴木 和 成	鈴木測量株式会社 取締役社長	吉松 靖 子	元千葉いのちの電話ボランティア
鈴木 國 雄	千葉県年金受給者協会 会長	渡邊 茂	公益社団法人千葉市保健医療 事業団 常務理事兼事務局長
鈴木 光	一般社団法人千葉県労働 者福祉協議会 会長		

尚、社会福祉法人千葉県共同募金会、社会福祉法人千葉県社会福祉協議会は選任交替の手続きをさせていただきます。

千葉県いのちの電話協会（後援会） 役員名簿（敬称略） 2022（令和4）年7月1日

顧問

白井 日出男	元衆議院議員	青柳 俊一	千葉興業銀行 取締役会長
篠崎 忠義	千葉銀行 取締役専務執行役員	宮澤 英男	千葉信用金庫 理事長
綿貫 弘一	京葉銀行 相談役	大澤 克之助	千葉日報社 代表取締役社長

相談役

阿部 紘一	千葉県議会議員	堀江 はつ	元千葉県議会議員
小川 善之	元千葉市議会議員	米持 克彦	千葉市議会議員
佐久間 隆義	元市原市 市長		

名誉会長

安田 敬一	公益財団法人安田教育振興会 理事長
-------	----------------------

歴代会長

川島 教昭	株式会社稲毛自動車教習所 代表取締役会長
-------	-------------------------

会長

橋本 妊壽奈	成田ユネスコ協会婦人部長
--------	--------------

副会長

鈴木 和成	鈴木測量株式会社 取締役社長	吉成 庸子	作家・エッセイスト
島田 行信	学校法人市川学園 理事		

理事

天野 和子	千葉いのちの電話活動ボランティア	高橋 憲	東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社総務部 サービス 品質改革室長
新井 隆太	アラックス株式会社 代表取締役社長	友田 直人	社会福祉法人千葉いのちの電話 理事長
遠藤 宏之	株式会社シティハウス 代表取締役	豊田 重俊	千葉ベタニヤホーム 理事長
岡部 文彦	新千葉法律事務所 所長	山口 悦子	有限会社豊工業 取締役
日下 忠文	日下医院 院長	米山 芳昭	千葉いのちの電話活動ボランティア 株式会社米山鉄工所 社長
齊藤 朝江子	元千葉いのちの電話 理事		
重宗 光子	有限会社エダブン 代表取締役		
	千葉いのちの電話相談ボランティア		

監事

大森 薫	大森税理士事務所 所長
------	-------------

研修専門家部会

上田 将史	NPO法人 志本市精神保健 福祉をすすめる会 理事長	西浦 加代子	元ルーテル学院大学付属 PCG カウンセラー
木村 登紀子	聖路加国際大学 名誉教授	藤井 忠幸	自死遺族ケア団体全国 ネット代表
佐藤 俊一	桜クリニック 臨床心理士 淑徳大学 教授		

ご支援のお願い

●あなたのご支援を必要としています

千葉いのちの電話の活動は、多くの善意あるボランティアの無償の奉仕によって支えられています。24時間365日眠らぬダイヤルの維持や建物管理、研修生の訓練や相談員の継続研修、広報活動などのために、年間約2,000万円の経費が必要となっております。

現在、全国の自殺者は警察庁の発表によると令和3年は21,007人、千葉県内では952人になっています。「死にたい!」と訴える相談者のころは、「生きたい! 助けて!」です。その声に寄り添うために、一人でも多くの方に資金ボランティアとして千葉いのちの電話を支えてくださいますようお願い申し上げます。

●ご寄付の税額控除について

千葉いのちの電話では、平成24年10月11日から税額控除が受けられるようになりました。税額控除証明書を領収書と一緒に印刷しておりますので、確定申告の際にはどうぞ活用下さい。詳細は事務局までおたずねください。

●維持会員、寄付者会員になってください

- ◆個人会員 年額1口 2千円（何口でも）
- ◆団体会員 年額1口 1万円（何口でも）
上記の額を毎年継続して納入して頂ける個人や団体
- ◆寄付者会員 この社会福祉法人の主旨に賛同して頂き、寄付金を納入していただける方、金額は問いません。

《お振込は下記のいずれかをご利用ください》

- ・郵便振替 / 00110-0-366563
＜加入者名＞「社会福祉法人 千葉いのちの電話」
- ・銀行振込 / 千葉銀行 県庁支店 004（普）2115973
京葉銀行 本店 080（普）8897411
千葉興業銀行千葉支店 111（普）6182171
千葉信用金庫本店 001（普）0580786
＜口座名＞「社会福祉法人 千葉いのちの電話 理事長 友田直人」

社会福祉法人 千葉いのちの電話 事業案内

発行日 2022年7月1日
発行者 理事長 友田直人
事務局 〒260-0012
千葉市中央区本町3-1-16 CIDビル
TEL 043-222-4416
FAX 043-227-6911
<http://www.chiba-inochi.jp>
E-mail ll-chiba@chiba-inochi.jp
エルエル

